

避難所以外も検討を！

避難所は、大きな被害を受けた方や、その可能性がある方たちのために開設されます。このため、避難所では、共同生活となり、プライバシーを守ることが難しく、ストレスなどで体調を崩してしまうことがあります。また、感染症へのリスクが高まる可能性もあります。

不慣れた環境で
身体共に負担が・・・

いつクラスターが発生するか
心配だ・・・



避難生活場所の選択肢

身体への負担や、感染リスクを抑えるため、次の避難方法も検討してみましょう。

住宅避難

ご自身と自宅周りの安全が確保できた場合は住み慣れた自宅で



自主避難先

近くの安全な親戚・知人の家



近くの親戚・知人の家へ避難も

自宅外に避難する場合には、安全が確保できる場所であれば、必ずしも避難所でなくても問題ありません。避難所での3密（密閉・密集・密接）を避けるため、あらかじめより安全な近くの親戚や知人の家などを自主避難先としてお願いしておくなど、「もしも」のときのために、事前に話し合っておきましょう。



例①：大雨が来る前に
息子の家に避難しておこう

例②：大きな地震が発生した後は、
必ず、おじいちゃんの家を集まろう